

カリキュラム Curriculum	文学研究科MC		ナンバリング Numbering	
番号 Number	科目種別 / 学科目 Course title	転用科目 Substitute for		種別 Subject type
220	日本語学特殊研究 <Specialized Studies in Japanese Linguistics>			講義
専攻 Major	担当教員 Instructor(s)		開講期 Semester	開講時間帯 Day and time
日本語学	吉田 永弘(YOSHIDA, Nagahiro)		前期	集中：限
講義題目 Title	古代語文法の変容			
単位 Credit	2			
備考 Others				
履修条件 注意事項 Requirements for registration	特になし。			
授業の目的 Purpose	中古語文法の変容を理解することができる。 This course aims students to understand the grammatical transition from the Heian era to the Kamakura-Muromachi era.			
授業の内容 授業の方法 Content	<p>中古から中世にかけての文法変化を観察する。異なる形態による交替変化ではなく、同一形式による意味変化に着目し、変化の時期と過程、また、変化の背景にある事実を探る。これを通して、文法変化の捉え方、研究方法を学ぶ。また、変化した後から中古の文法を見つめることで、古典文法の理解を深める。採りあげる話題は次の通り。</p> <p>(1) 条件表現の変容 (2) 可能表現の変容 (3) 尊敬表現の変容 (4) 断定表現の変容</p> <p>それぞれの内容について、網羅的に扱うのではなく、中心となる現象に着目して論じる。基本的に講義形式で行うが、対話を行って双方向的な講義となることを目指す。最終講義時に、講義内容の理解を問う試験と講評を行う。</p>			
教科書 テキスト Textbooks	プリントを配布する。			
参考書 References	小田勝『実例詳解古典文法総覧』和泉書院			
受講生の 自宅学習 Preparation and review	集中講義前に、各古典文法の基礎知識を確認しておいてください。講義後、内容を復習して不明な点は翌日の講義時に質問してください。			
成績評価の 方法と基準 Evaluation	講義内容の理解を問う試験による（100％）。			
連絡方法 Contact information	講義後直接、もしくは、宮地朝子先生を通してご連絡ください。			